

サル痘患者の発生について

都内の医療機関を受診していた以下の方について、検査の結果、サル痘の陽性が確定しました。

なお、報道機関各位におかれましては、御本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。医療機関への取材や直接のお問い合わせはお控えください。

【患者の概要】 7名（うち都内居住者6名、都外居住者1名）

No.	年代	性別	症状	医療機関 受診日	居住自治体 (居住地)	海外 渡航歴	その他
1	30代	男性	発疹、発熱、 咽頭痛	4月10日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
2	30代	男性	発疹、発熱、 肛門直腸痛、 リンパ節腫脹	4月13日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
3	40代	男性	発疹、発熱、 倦怠感、リン パ節腫脹	4月17日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
4	20代	男性	発疹、発熱	4月17日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
5	50代	男性	発疹	4月18日	都外	なし	・患者の状態は安定している。
6	30代	男性	発疹、咽頭 痛、倦怠感	4月20日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
7	20代	男性	発疹、発熱、 咽頭痛、肛門 直腸痛、リン パ節腫脹	4月20日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。

【サル痘とは】

- サル痘は、サル痘ウイルスによる感染症で、中央アフリカから西アフリカにかけて流行しています。日本では感染症法上の四類感染症に指定されています。
また、2022年5月以降、欧州や米国等で市中感染の拡大が確認されています。
- サル痘の潜伏期間は6～13日（最大5～21日）とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0～5日続き、発熱1～3日後に発疹が出現、発症から2～4週間で治癒するとされています。
- サル痘の流行地では、げっ歯類やサル・ウサギなどの動物との接触や、感染が疑われる人の飛沫・体液等を避ける、手指衛生を行うなど、感染予防対策を心がけ、感染が疑われる場合には、直ちに医師の診察を受けてください。